

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日	7月 ~21日	7月 ~28日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	22	24	0 (31)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	20	6	7 (10)	12
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	1	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	3	4	1	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	3	1	4	9
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第30週(7月22日~7月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			2	1	1		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四類	2	レジオネラ症	2	1		1				
五類全数	12	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		ジアルジア症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	1							
		百日咳	6	3	2			1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中市, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第30週 7/22~7/28)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 腸管出血性大腸菌感染症

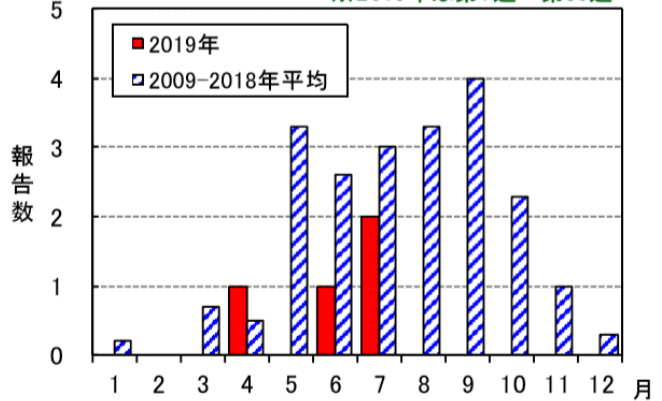
2件(O103)の報告があり、今年の累計は4件となりました。例年、気温が高い時期に報告数が多くなる傾向があります。

症状は、全く症状がないものから重篤な合併症を起こすものまで様々ですが、多くの場合3~5日の潜伏期間を経て、水様性の下痢で発症し、さらに激しい腹痛を伴い、血便となることがあります。特に子どもと高齢者は重症化しやすいため、注意が必要です。

2. 手足口病

定点当たり9.26人と、多い状況が続いています。手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)
※2019年は第1週~第30週



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.06		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.71	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.39	0.45	↓	小児科	RSウイルス感染症	16	0.70	0.71	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.70	1.85	↔	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	80	3.48	3.58	↔	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	1.15	
	水痘	10	0.43	0.49		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	213	9.26	3.10	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	10	0.43	0.30			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	6	0.26	0.37			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
		ヘルパンギーナ	46	2.00	1.65	↔	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	98	男性(70歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	4	女性(40歳代)・O103、男性(60歳代)・O103
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(30歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	女性(70歳代)
5	百日咳	1	32	女性(10歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢 腹痛	5 女	2019/06/19	糞便	ノロウイルスGⅡ
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2 女	2019/06/02	糞便	アデノウイルス31型
その他の循環器疾患	発熱 上気道炎 嘔吐 心筋炎 ショック症状	1 男	2019/06/19	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.6)	0 女	2019/06/04	咽頭拭い液 糞便 髄液	コクサッキーウイルスB5型
その他の疾患	発熱(39.0)	0 男	2019/06/13	糞便 鼻汁	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.0) ショック症状 活気不良	0 女	2019/06/09	咽頭拭い液 鼻汁	パレコウイルス3型 ライノウイルス 糞便 尿 パレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載